



「選挙に行って、自公政権を変えよう」と訴える参加者＝4日、さいたま市・浦和駅前

# 戦争法廃止広げよう

## 選挙に行って 自公政権倒そう

さいたま ママの会が宣伝

「安保関連法に反対するママの会@埼玉」は4日夕、さいたま市の浦和駅伊勢丹前で「選挙フェス@さいたま」を主催し、初音ミクと題して、初音ミクをイメージした路上スピーチを行いました。ボサノバのゆるやかな音楽を流しながら、「だれの子でもころさせない」のプラカードで、買い物客や通行人にアピール。飛び入りを含む15人がマイクを握りました。大学生と高校生の娘をもつ母親は「抑止方

が国民を守ると言いながら、戦争の方向に進む政権。私たちができることは、打ちのめされたりしながら、そこから学び選挙に行くことです。それをきょうから始めてみませんか」と道行く人に語りかけました。

・公明政権を倒していただきたい」と話しました。戦争法だけではなく、マイナンバーへの不安や、普義偉官房長官の「子どもを産んで国家に貢献」発言に怒るスピーチも続きました。

「ママの会@埼玉」には、法案可決後、「私の地域でもママの会をつくりたい」と相談があるなど、新しいつながりが生まれています。